電話

電話のかけかた／受けかた 2-2
音声電話をかける 2-2
発信時の機能 2-3
緊急電話（110／119／118）発信について 2-4
音声電話を受ける 2-5
着信時の機能 2-5
相手の声を聞きやすくする（しっかりトーク） 2-5
TVコールのかけかた／受けかた 2-6
TVコール利用時のご注意 2-6
TVコール中の画面の見かた 2-6
TVコールをかける 2-7
TVコールを受ける 2-8
室内の様子などを外出先から確認する（遠隔監視） 2-8
国際電話の利用 2-9
日本国内から国際電話をかける 2-9
海外で電話をかける（世界対応ケータイ） 2-10
国際電話に関する機能 2-10
通話中の機能 2-12
音声電話中に利用できる機能 2-12
TVコール中に利用できる機能 2-12
履歴の確認／利用 2-13
履歴を確認する 2-14
履歴を利用して電話をかける 2-14
履歴表示中に利用できる機能 2-15
メッセージ／通話の録音 2-15
簡易留守録 2-15
通話の録音／録画 2-16
録音／録画に関する機能 2-17
オプションサービス 2-17
オプションサービスの概要 2-17
転送電話サービス 2-18
留守番電話サービス 2-19
割込通話サービス 2-20
発着信規制サービス 2-21
発信者番号通知サービス 2-22

電話のかけかた／受けかた

音声電話をかける

まず待受画面で確認！

- 電波状態を確認する。（☞P.1-8）
- 表示を確認する。
  「圏外」「」「」「」「」「」
  →ご利用になれません。（☞P.1-8、P.1-9、P.19-12）

1 市外局番から電話番号を入力する

- 同一市内でも必ず市外局番から入力してください。

080XXXXXXXX

2 電話番号を確認し、を押す

電話がかかります。

- 相手の声の大きさを調節するには：または

3 通話が終わったら、を押す

通話時間の目安が表示されます。

電話番号の入力を間違えたとき

で消したい数字にカーソルを移動してクリアを押し、正しい数字を入力します。クリアを長押しすると、カーソル上の数字とカーソルから右に入力した数字がすべて消えます。

お知らせ

- 内蔵アンテナ部分（☞P.1-5）を手やシールなどで覆わないでください。電波感度が弱まり、通話、通信のご利用ができなくなる場合があります。

こんなこともできます！

- 音声電話中に利用できる機能（☞P.2-12）
- 履歴を利用して電話をかける（☞P.2-14）
- 入力した電話番号を電話帳に登録する（☞P.4-5）
- 電話帳から電話をかける（☞P.4-6）

設定 ●通話時間／料金に関する設定 ●通話中に本機を閉じたときの動作を変える（☞P.18-9）

発信時の機能

電話番号通知／非通知の設定をする

> 電話番号を入力したあとに[Y!][メニュー]→**発番号設定**→**通知しない／通知する**

- 設定を取り消すには：[Y!][メニュー]→**発番号設定**→**発番号設定消去**
- 常に通知／非通知にするときは（発信者番号通知サービス☞P.2-22）

電話番号の先頭に手早く番号を付加する（プレフィックス設定）

■ プレフィックス（電話番号に付加する番号）を登録する

> **メインメニューから 設定▶通話設定▶プレフィックス設定▶<未登録>**を選んで[✉][編集]▶登録名を入力▶プレフィックス番号を入力

- 最大7件登録できます。
- プレフィックスを選択すると、登録内容を確認できます。
- 削除するには：プレフィックスを選んで[Y!][メニュー]→**削除／全削除**（→**全削除**の場合、端末暗証番号を入力）→**YES**

■ プレフィックス機能を利用して電話をかける

> 電話番号を入力→[Y!][メニュー]→**プレフィックス**→登録名を選択→音声電話：[📞]／TVコール：[✉][TVコール]

- 電話帳／リダイヤル／発信履歴／着信履歴の詳細画面で[Y!][メニュー]→**プレフィックス**→登録名を選択→音声電話：[📞]／TVコール：[✉][TVコール]でも発信できます。

例）「186」「184」を登録し、電話をかけるときに付加すれば、自分の番号を通知／非通知にして相手に発信できます。

プッシュ信号を手早く送り出す（ポーズダイヤル）

プッシュ信号を送って、チケットの予約や銀行の残高照会などのサービスを利用できます。ダイヤルデータをあらかじめ登録しておくと、ポーズが入力されている箇所で区切りながら送出できます。

■ ポーズダイヤルを登録する

> **メインメニューから 設定▶一般設定▶ポーズダイヤル▶**[✉][編集]▶ダイヤルデータを入力

- ポーズ（p）を入力するには：[＊]（長押し）
- 削除するには：ポーズダイヤル表示画面で[Y!][メニュー]→**削除**→**YES**

■ ポーズダイヤルを送信する

> **メインメニューから 設定▶一般設定▶ポーズダイヤル▶**[◉][送信]▶電話番号を入力▶[📞]▶相手が応じたことを確認したら[◉][送信]

- [◉][送信]を押すたびに、ポーズ（p）までのダイヤルデータが送出されます。
- ダイヤルデータをまとめて送出するには：相手が応じたことを確認したら[◎]（長押し）→**一括送出**

緊急電話（110／119／118）発信について

本機の各機能を利用して発信を制限しているときでも、110番（警察）、119番（消防・救急）、118番（海上保安庁）へは発信できます。

次の場合は発信できませんので、ご注意ください

- **通話料金上限設定**を**ON**に設定中で上限料金を超えた場合
- PIN／PIN2、PUK／PUK2コード入力画面

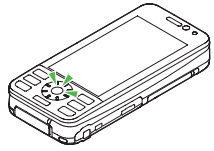
緊急通報位置通知について

緊急通報位置通知とは、本機から緊急通報を行った場合、発信した際の位置の情報を緊急通報受理機関（警察など）に対して通知するシステムです。
本機では受信している基地局測位情報をもとに算出した、位置情報を通知します。

- 発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されないことがあります。緊急通報受理機関に対して、必ず口頭で発信場所や目標物をお伝えください。
- 基地局測位情報の精度は、数100m～10km程度となります。また、実際の位置とは異なった位置情報が通知される場合があります（遠方の基地局電波を受信した場合など）。
- 緊急通報位置通知機能は、接続先となる緊急通報受理機関が、位置情報を受信できるシステムを導入したあとにご利用いただけるようになります。
- 「184」を付けて、「110」、「119」、「118」の緊急通報番号をダイヤルした場合などは、緊急通報受理機関に位置情報は通知されません。ただし、緊急通報受理機関が人の生命等に差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の位置情報を取得する場合があります。
- 海外ローミングを使用している場合は対象外となります。
- 申込料金、通信料は一切必要ありません。

音声電話を受ける

電話がかかってくると



着信音が鳴り、着信／充電ランプが点滅します。

相手が電話番号を通知してきたときは、ディスプレイに電話番号が表示されます。
電話帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。
国際電話の場合は、電話番号の左上に「[国際]」が表示されます。

1 **を押し、相手と話す**

- 相手の声の大きさを調節するには：通話中に●または▲▼

2 **通話が終わったら、を押す**

通話時間の目安が表示されます。

着信音量を調節する

> 着信中に、●

- 以下の場合は、調節できません。
  - ・マナーモード設定中（☞P.1-17）
  - ・**着信音量**を**エスカレーティングトーン**に設定中（☞P.18-2）

お知らせ

- 相手の電話番号が通知されてこなかったときは、「非通知設定」と表示されます。

こんなこともできます！

- 音声電話中に利用できる機能（☞P.2-12）
- 電話帳に登録されていない番号からの着信を拒否する（登録外着信拒否）●番号非通知での着信を拒否する（非通知着信拒否）（☞P.12-13）

設定 ●着信時のボタン動作を変える ●本機を開くだけで着信に応答する（☞P.18-7）

着信時の機能

着信中に下記のような機能が利用できます。

着信を保留する	>
簡易留守録で応答する	> ／
着信を拒否する	> **[メニュー]→着信拒否** ● 登録外着信拒否／非通知着信拒否について（☞P.12-13）
電話を転送する	> **[メニュー]→転送電話** ● 転送電話サービス（☞P.2-17）を開始しておいてください。開始していないと、着信は拒否されます。

相手の声を聞きやすくする（しっかりトーク）

《お買い上げ時》ON

通話中、自分の周囲の騒音レベルを測定し、騒音の特性や音量に応じて通話相手の声の音質や音量を強調して聞きやすくすることができます。

メインメニューから 設定▶通話設定▶しっかりトーク

1 **ON／OFF**

TVコールのかけかた／受けかた

TVコール対応機どうしで、お互いに相手が送ってきた画像を見ながら通話できます。

- アウトカメラを使って、風景などの画像を送信することもできます。

こんなこともできます！

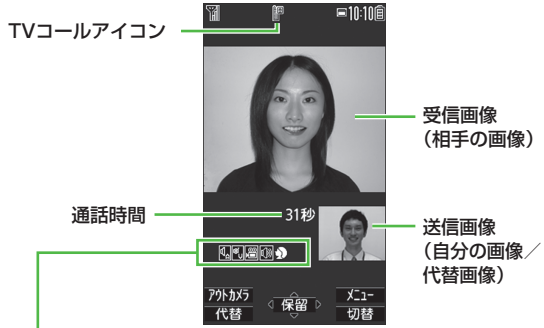
- 室内の様子などを外出先から確認する（遠隔監視）（☞P.2-8）

TVコール利用時のご注意

- TVコールは3Gサービスエリア内でのみ使用できます。
- 本機は国際標準の3G-324M規格に準拠しています。異なる方式の携帯電話と接続したときは、TVコール通話が切れることがあります。このときは、通話が切れるまでの通話料金がかかります。
- スピーカーホンをご利用のときは、受話音量を大きくすると会話しづらくなることがあります。このときは、音量を下げて通話するか、イヤホンマイクのご利用をおすすめします。
- TVコール通話中は本機の温度が上がりますが、故障ではありません。
- 音声、画像の送受信に失敗した場合、自動的には復旧しません。再度TVコールをおかけ直しください。
- 充電中やデジタルテレビ録画中はインカメラからアウトカメラへの切り替えはできません。また、アウトカメラ使用中に充電を開始した場合、代替画像が送信され、自動的には復旧しません。充電終了後に再度アウトカメラへの切り替えを行ってください。

TVコール中の画面の見かた

例）お買い上げ時の状態でTVコールをかけた場合



設定／通話状態を表すアイコン

- ：音声送信／受信中
- （グレー）：音声送信／受信失敗
- ：画像送信／受信中
- （グレー）：画像送信／受信失敗
- ：カメラ画像送信中
- ：代替画像送信中
- ：スピーカーホンON
- ：AV出力中
- ：Bluetooth® 通話中
- ：ポートレート
- ：接写
- ：風景
- ：ナイトモード

- 表示される画像の大小は、設定や送受信の条件によって異なります。

TVコールをかける

まず待受画面で確認！

- 電波状態を確認する。（☞P.1-8）
- 他の表示を確認する。
  「圏外」「」「」「」「」「¥」
  →ご利用になれません。（☞P.1-8、P.1-9、P.19-12）

1 電話番号を入力する

080XXXXXXXX

2 電話番号を確認し、[TVコール]を押す

相手が電話に出ると、インカメラからの画像と相手の画像が表示されます。相手の声はスピーカー（本体背面）から聞こえます。

- 相手の声の大きさを調節するには：またはA▼

3 通話が終わったら、を押す

お知らせ

- マナーモード設定中は、相手の声は受話口から聞こえます。スピーカーから聞こえるようにするには、スピーカーをオンにしてください。（☞P.2-12）

こんなこともできます！

- 発信時の機能（☞P.2-3）
- TVコール中に利用できる機能（☞P.2-12）
- 履歴を利用して電話をかける（☞P.2-14）
- 入力した電話番号を電話帳に登録する（☞P.4-5）
- 電話帳から電話をかける（☞P.4-6）

設定 ●相手に送信する画像を変える ●TVコールでつながらないときに自動的に音声電話に切り替えて発信する（☞P.18-13）

TVコールを受ける

TVコールがかかってくると

着信音が鳴り、着信／充電ランプが点滅します。

相手が電話番号を通知してきたときは、ディスプレイに電話番号が表示されます。電話帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。
国際電話の場合は、電話番号の左上に「[ ]」が表示されます。

1 **を押して電話に出る**

カメラ画像が相手に送信されます。
- 代替画像を相手に送信するには：[代替]

2 **通話が終わったら、を押す**

お知らせ
- マナーモード設定中は、相手の声は受話口から聞こえます。スピーカーから聞こえるようにするには、スピーカーをオンにしてください。（☞P.2-12）

こんなこともできます！
- 着信音量を調節する
- 着信時の機能（☞P.2-5）
- TVコール中に利用できる機能（☞P.2-12）

室内の様子などを外出先から確認する（遠隔監視）

3G-324Mに準拠したTVコール機能を持つ電話機から、本機のインカメラを監視カメラとして遠隔監視ができます。対局番号入力で登録した電話番号からTVコールがかかってきた場合、自動的に遠隔監視が実行されます。

対局番号を登録して遠隔監視を有効にする

メインメニューから 設定▶TVコール▶遠隔監視

1 端末暗証番号を入力→**対局番号入力**

2 **＜未登録＞**→電話番号を入力→[クリア/ESC]

3 **応答時間**→応答時間(秒)を入力

4 **設定→ON**
- マナーモード中は**ON**に設定できません。

■ **対局番号を電話帳や発着信履歴から選ぶ**

> 手順2で**<未登録>**を選んで**[メニュー]→宛先引用→**項目を選択→番号を選択

■ **対局番号を削除する**

> 手順1のあと（対局番号を選んで）**[メニュー]→削除／全削除→YES**

遠隔監視を行う

1 登録した電話番号からTVコールをかける

応答時間経過後、自動的に遠隔監視が始まります。

- 自動応答する前に着信側で電話に出ると、TVコールが開始されます。

2 遠隔監視を終了するには、発信側または着信側で

国際電話の利用

日本国内から国際電話をかける

- お申し込み手続き不要でご利用いただけます。

1 電話番号を入力

2 **[メニュー]→国際ダイヤルアシスト**

国/地域名リストが表示されます。

3 相手の国/地域を選択

4 **音声電話の場合**

TVコールの場合

[TVコール]

■ **直接国/地域番号などを入力してかける**

> 0→0（長押し）で「+（国際コード）」を表示させる→国/地域番号を入力→電話番号を入力（先頭の「0」を除く）→音声電話：／TVコール：**[TVコール]**

- イタリア（国/地域番号39）にかける場合は、電話番号の先頭の「0」は省かずに入力してください。

海外で電話をかける（世界対応ケータイ）

- 世界対応ケータイのしくみ、使用できる国や地域、料金などの詳細については、ソフトバンクモバイルホームページ（http://www.softbank.jp）でご案内しています。また、使用できる機能や制限などについては、お問い合わせ先（☞P.19-34）までご連絡ください。
- 世界対応ケータイのご利用には、別途お申し込みが必要です。
- 海外にお出かけになるときは、「世界対応ケータイサービスガイド」を携帯してください。

例）海外発信アシストがONの場合

- お買い上げ時は**海外発信アシスト**（☞右記）が**ON**および**日本（+81）**に設定されています。

1 **音声電話の場合**

電話番号を入力→✆

TVコールの場合

電話番号を入力→✉**[TVコール]**

2 項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
日本の番号へ発信※	日本の番号へ発信します。
設定国/地域へ発信※	**海外発信アシスト**に設定している国/地域番号へ発信します。
このまま発信	入力した番号のまま発信します。 滞在している国/地域の番号へ発信するときに選択します。

※ 電話番号の先頭の「0」を削除し、国際コードと国/地域番号（「+81」など）を付与して発信します。（イタリアの場合は、電話番号の先頭の「0」を削除しません。）

- 初回だけ確認画面が表示されます。**NO**を選択すると、**海外発信アシスト**が**OFF**になります。

お知らせ

- 手順1で直接国際コードと国/地域番号を入力した場合や、国際コードと国/地域番号の登録のある電話帳を選択した場合などは、そのまま発信されます。

国際電話に関する機能

共通操作▶ **メインメニューから 設定▶国際設定**

■ 国際ダイヤルアシストの設定をする

> **国際ダイヤルアシスト設定**→項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
海外発信アシスト	「+」を国際コードに置き換えて発信するかどうかを設定します。 > **ON**／**OFF**（→**ON**の場合、国/地域を選択）
国/地域番号設定	最大27件登録できます。 > **<未登録>**を選んで✉**[編集]**→国/地域名称を入力→国/地域番号を入力 ● 登録内容を確認するには：国/地域を選択 ● 登録内容を削除するには：国/地域を選んでY!**[メニュー]**→**削除**／**全削除**（→**全削除**の場合、端末暗証番号を入力）→**YES**
国際プレフィックス設定	国際コードを変更できます。お買い上げ時は「0046010」に設定されています。 > Y!**[メニュー]**→**編集**→国際コードを入力

■ ネットワークモードを切り替える

《お買い上げ時》自動

> **3G/GSM選択**→項目を選択（下記参照）

項目	操作・補定
自動	日本国内と海外の3G／GSMサービスエリアで使用できます。日本国内では3Gのみ、海外では3GとGSMの両方を検索します。
手動	> 項目を選択 ・**3G/GSM**：日本国内と海外の3G／GSMサービスエリアで使用できます。3GとGSMの両方を検索します。 ・**3G**：日本国内と海外の3Gサービスエリアで使用できます。 ・**GSM**：海外のGSMサービスエリアで使用できます。日本国内では使用できません。

●通常は**自動**でお使いになることをおすすめします。

■ 通信事業者の検索方法を設定する

《お買い上げ時》オート

> **ネットワークサーチ設定**→項目を選択（下記参照）

項目	操作・補定
オート	通信事業者を自動で選択します。
マニュアル	使用する通信事業者を手動で選択します。 > 通信事業者を選択 ●「×」が表示されている通信事業者は利用できません。 ●通信事業者の一覧を更新するには：✉**[更新]**
ネットワーク再検索	現在利用できるネットワークを再検索します。 ●**オート**に設定時は、自動的に接続先が切り替わり、設定が終了します。**マニュアル**に設定時は、通信事業者の一覧が表示されます。

■ 通信事業者を自動で選択する場合の優先度を設定する

> **優先ネットワーク設定**→Y!**[メニュー]**→項目を選択（下記参照）

項目	操作・補定
在圏ネットワーク登録	現在接続中の通信事業者を登録します。 > ✉**[完了]**→**YES**
リストから登録	リストから通信事業者を選択して登録します。 > 通信事業者を選択→◉**[確定]**→ネットワークの種類を選択→✉**[完了]**→**YES** ●通信事業者を国/地域名で検索するには：✉**[検索]**→国/地域を選択（国/地域選択リストで再度検索するには：✉**[検索]**→国/地域名を入力）
手動登録	リストにない通信事業者などを国/地域番号とオペレータ番号を入力して登録します。 > 国/地域番号（3桁）とオペレータ番号（2～3桁）を入力→ネットワークの種類を選択→✉**[完了]**→**YES**
優先順位変更	> 変更後の優先順位を選択→✉**[完了]**→**YES**
1件削除／全削除	> **YES**→✉**[完了]**→**YES**

■ 通信事業者を待受画面に表示する

《お買い上げ時》表示なし

> **事業者名表示**→**表示あり**／**表示なし**

●**表示あり**に設定すると、時計の表示位置は**パターン1**になります。（☞P.18-5）

通話中の機能

音声電話中に利用できる機能

受話音量を調節する	> ◎／▲▼ ●2秒以内に調節してください。 ●通話終了後や電源を切っても、変更した音量は保持されます。
通話を保留する	> ◉**[保留]** ●通話に戻るには：✆
スピーカーホンのON／OFFを切り替える	スピーカー／受話口から相手の声が聞こえるように切り替えます。 > ✆
通話を録音する	約3分間、1件録音できます。 > ▼（長押し）／✉**[録音]** ●録音を終了するには：◉**[停止]**／クリア/戻る／▼（長押し） ●録音したデータを確認するには（☞P.2-16）
マナーモードを設定／解除する	> #（長押し）
通話機を切り替える	本機／Bluetooth® 機器で通話できるように切り替えます。 > ✆（長押し）

TVコール中に利用できる機能

受話音量を調節する	> ◎／▲▼ ●2秒以内に調節してください。 ●通話終了後や電源を切っても、変更した音量は保持されます。
通話を保留する	> ◉**[保留]** ●通話に戻るには：✆ ●代替画像を送信して通話に戻るには：📷**[代替]**
スピーカーホンのON／OFFを切り替える	スピーカー／受話口から相手の声が聞こえるように切り替えます。 > ✆
通話を録画する	約20秒間、最大5件録画できます。 > ▼（長押し） ●録画を終了するには：◉**[停止]**／▼（長押し） ●録画したデータを確認するには（☞P.2-16）
インカメラ／アウトカメラを切り替える	> ✉**[インカメラ／アウトカメラ]**
カメラ画像と代替画像を切り替える	カメラ画像と代替画像を切り替えます。 > 📷**[画像／代替]**
双方の画像の大小を切り替える	> 📷**[切替]**
ズームを使う	送信するカメラ画像のズームレベルを調節します。 > ◎（望遠）／◎（広角）
マナーモードを設定／解除する	> #（長押し）

通話機を切り替える	本機／Bluetooth® 機器で通話できるように切り替えます。 > Ⓨ**[メニュー]→通話機切替→Bluetooth／本体通話**
バックライトの点灯時間を変更する	> Ⓨ**[メニュー]→バックライト設定→常時点灯／15秒点灯**
TVコールの設定を変更する	> Ⓨ**[メニュー]→TVコール設定**→各項目の操作（☞P.18-13）
画質を補正する	ディスプレイの明るさに合わせて画質補正するかどうかを設定します。 > Ⓨ**[メニュー]→液晶AI→ON／OFF**
オーナー情報を表示する	> Ⓨ**[メニュー]→オーナー情報表示**
ボタン操作ガイドを表示する	> Ⓨ**[メニュー]→ボタン操作ガイド**

履歴の確認／利用

発着信した相手の電話番号や日時が履歴として記憶されるので、過去に発着信した相手にかけ直すことができます。

リダイヤル	音声電話／TVコールの発信が合わせて最大30件記憶されます。同じ番号の古いデータは削除されます。
発信履歴	音声電話／TVコールの発信が合わせて最大30件、64Kデータ通信／パケット通信の発信が合わせて最大30件記憶されます。同じ番号の古いデータも残ります。
着信履歴	音声電話／TVコールの着信が合わせて最大30件、64Kデータ通信の着信が最大30件記憶されます。同じ番号の古いデータも残ります。

情報や項目の内容／状態を表すアイコン

- 電話　音声電話の発着信
- 不在※　音声電話の不在着信
- 電話　TVコールの発着信
- 不在※　TVコールの不在着信
- 留守録　簡易留守録に用件あり
- 電話　国際電話の発着信
- 不在※　国際電話の不在着信
- 電話　国際TVコールの発着信
- 不在※　国際TVコールの不在着信
- 着信ログ※　電源OFF時や圏外、通話中で受けられなかったときなどの着信（☞P.2-20）
- 遠隔　遠隔監視の着信
- 64Kデータ通信の発信
- 64K　64Kデータ通信の着信
- 不在※　64Kデータ通信の不在着信
- パケット通信の発信
- 接続ナシ　外部機器が接続されていないときに受けた64Kデータ通信／パケット通信の着信

※ 未確認のアイコンは、反転表示されます。

履歴を確認する

1 **リダイヤルの場合**

◎

発信履歴の場合

◎→**電話機能**→**通話履歴**→**発信履歴**

着信履歴の場合

◎

履歴一覧が表示されます。

- 送信アドレス一覧／受信アドレス一覧を表示するには：[切替]**[切替]**

リダイヤルの場合

■ 不在着信のみを確認する

> **メインメニューから 電話機能▶通話履歴▶着信履歴▶不在着信**

- 未確認の着信がある場合は、着信履歴選択後の画面に**未確認件数**が表示されます。

お知らせ

- 新しい履歴から順に一覧表示されます。電話帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。
- 電源を切っても履歴は消えません。
- 最大件数を超えたときは、古いものから削除されます。
- 着信履歴は**メインメニューから 電話機能▶通話履歴▶着信履歴▶全着信**でも表示できます。

履歴を利用して電話をかける

1 履歴一覧を表示する（☞左記）

2 **音声電話の場合**

電話番号または名前を選んで✆

TVコールの場合

電話番号または名前を選んで✉**[TVコール]**

国際電話の場合

電話番号または名前を選択→Y!**[メニュー]**→**国際ダイヤルアシスト**→相手の国/地域を選択→音声電話：✆／TVコール：✉**[TVコール]**

履歴表示中に利用できる機能

各種履歴を表示中に[メニュー]を押すと、次の操作ができます。

● 履歴一覧／履歴詳細画面のどちらかでしか利用できない機能があります。

項目	操作・補足
発番号設定	自分の電話番号を通知／非通知にして相手に発信します。（☞P.2-3）
プレフィックス	履歴の番号にプレフィックス番号を付けて電話をかけます。 > 登録名を選択→
国際ダイヤルアシスト	履歴を利用して国際電話をかけます。 > 相手の国/地域を選択→
文字サイズ変更	文字サイズを拡大／標準に切り替えます。
電話帳登録	履歴を利用して電話帳に登録します。（☞P.4-5）
呼出時間表示※1	呼び出し時間を表示します。
ショートカット登録	ショートカットに登録します。（☞P.1-23）
S!メール作成	履歴を利用してS!メールを作成します。（☞P.14-4手順4以降）
SMS作成※2	履歴を利用してSMSを作成します。（☞P.14-7手順4以降）
受信アドレス一覧／送信アドレス一覧	受信アドレス／送信アドレス一覧を表示します。
削除／選択削除／全削除	> 各項目の操作

※1 着信履歴の場合のみ選択できます。
※2 相手がソフトバンク携帯電話の場合のみ送信できます。

メッセージ／通話の録音

簡易留守録

あらかじめ設定しておくと、かけてきた相手のメッセージを音声電話では最大5件、TVコールでは最大2件、それぞれ1件あたり最大20秒、本機に録音／録画できます。

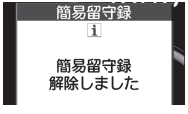
● 簡易留守録を設定すると、待受画面に「0」～「5」（音声電話の録音件数）、「0TV」～「2TV」（TVコールの録画件数）が表示されます。
● 簡易留守録は、電源が切れているとき、電波OFFモード設定中や「圏外」の表示が出ているときは使用できません。このときは、オプションサービスの留守番電話サービスをご利用ください。（☞P.2-19）

簡易留守録を設定／解除する

《お買い上げ時》ON

1 クリア（長押し）

● 設定を切り替えるには、同様の操作を行います。



■ 電話がかかってきたときに録音／録画する

> [留守録]／

お知らせ

- **メインメニューから ツール▶簡易留守録/録音▶簡易留守録設定▶ON／OFF** でも設定／解除できます。
- 録音／録画件数がいっぱいの状態で簡易留守録を**ON**にしても、簡易留守録は動作しません。不要なメッセージは削除してください。
- マナーモード（ユーザー作成）設定中は、マナーモード（ユーザー作成）の簡易留守録設定（☞P.18-7）が優先されます。

録音／録画を確認する

新しいメッセージが録音／録画されると、待受画面にお知らせアイコン（☞P.1-22）が表示されます。

1 お知らせアイコンを選択

2 メッセージを選択

メッセージが再生されます。
再生が終わると、お知らせアイコンは消えます。

お知らせ

- 待受画面でクリアを押す（音声電話のメッセージのみ）、または **メインメニューから ツール▶簡易留守録/録音▶音声電話データ／TVコールデータ▶**メッセージを選択でも再生できます。

通話の録音／録画

- 音声電話は1件、約3分間録音できます。
- TVコールは最大5件、1件あたり約20秒間録画できます。

通話を録音／録画する

1 通話中に▼（長押し）

録音／録画が始まります。

2 録音／録画を終了するには、
◉**[停止]**／▼（長押し）

お知らせ

- 音声電話の録音の場合は、✉**[録音]**で開始し、クリアで終了することもできます。

通話の録音／録画を確認する

メインメニューから ツール▶簡易留守録/録音

1 **音声電話データの場合**
音声電話データ→通話データ

TVコールデータの場合
TVコールデータ→通話データを選択

録音／録画が再生されます。

録音／録画に関する機能

共通操作▶ **メインメニューから ツール▶簡易留守録/録音**

■ 簡易留守録の応答メッセージの種類と呼び出し時間を設定する

> **簡易留守録設定→ON**→応答メッセージを選択→呼び出し時間を入力

- 簡易留守録をオプションサービスの留守番電話サービス、または転送電話サービスと合わせてご利用になるときは、呼び出し時間の設定により、優先順位が変わります。

例）簡易留守録の呼び出し時間…18秒／各サービスの呼び出し時間…20秒と設定すると、簡易留守録が優先されます。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）

- 簡易留守録を優先していても、録音件数がいっぱいになると転送電話／留守番電話サービスが優先されます。

■ 録音／録画したデータを消去する

> **音声電話データ／TVコールデータ**→（データを選んで）
> **[メニュー]→1件消去／簡易留守録消去／通話データ消去**※／**全消去→YES**
> ※**TVコールデータ**の場合のみ

オプションサービス

オプションサービスの概要

本機では、次のオプションサービスが利用できます。

- お申し込み、一般電話からの操作、サービスの詳細についてはソフトバンクモバイルホームページ（http://www.softbank.jp）でご案内しています。

転送電話サービス（☞P.2-18）	電源を切っているときや電波の届かない場所にいるとき、電話に出られないときなどに、かかってきた電話を指定した電話番号に転送します。
留守番電話サービス（☞P.2-19）	電源を切っているときや電波の届かない場所にいるとき、通話中のため電話に出られないときなどに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。 ●着信お知らせ機能（☞P.2-20）
割込通話サービス※（☞P.2-20）	通話中の相手を保留にして、別の相手からの電話を受けられます。また、通話相手を切り替えることもできます。
発着信規制サービス（☞P.2-21）	電話（音声電話／TVコール）の発着信やSMSの送受信を規制します。
発信者番号通知サービス（☞P.2-22）	お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にすることができます。

※ 別途お申し込みが必要です。

転送電話サービス

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。
- TVコール着信を転送する場合は、3G-324M規格に準拠したTVコール対応機を転送先に設定してください。転送先が対応していない場合は、TVコールは転送されません。

転送電話サービスを開始する

メインメニューから 設定▶通話設定▶留守番・転送電話▶転送ON

1 着信の種類を選択

2 転送先の電話番号を入力

- ◎を押すと電話帳検索画面から電話番号を選択できます。

3 項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
呼び出しあり	呼び出し時間内に応答できなかった着信を転送します。 ＞ 呼び出し時間を選択→**YES**
呼び出しなし	着信音を鳴らさずにすべての着信を転送します。 ＞ **YES**

■ 転送電話サービスの設定内容を確認する

＞ **メインメニューから 設定▶通話設定▶留守番・転送電話▶現在の設定確認**

■ 転送電話サービスを停止する

＞ **メインメニューから 設定▶通話設定▶留守番・転送電話▶留守番・転送全てOFF▶YES**

お知らせ

- 転送先には、フリーダイヤルや国際電話など一般転送先として望ましくない番号は登録できません。
- 転送電話サービスと簡易留守録を合わせてご利用になるときは、呼び出し時間の短い方が優先されますのでご注意ください。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）
- **呼び出しあり**に設定している場合、着信音が鳴っている間（呼び出し時間内）に以下の操作ができます。
  - ・通話するには：✆
  - ・転送するには：Y!**[メニュー]→転送電話**

留守番電話サービス

- 留守番電話センターへの転送は、転送電話サービスを利用します。そのため、転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。
- TVコールの着信にはご利用になれません。

留守番電話サービスを開始する

メインメニューから 設定▶通話設定▶留守番・転送電話▶留守番電話ON

1 項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
呼び出しあり	呼び出し時間内に応答できなかった着信を転送します。 > 呼び出し時間を選択→**YES**
呼び出しなし	着信音を鳴らさずにすべての着信を転送します。 > **YES**

■ 留守番電話サービスの設定内容を確認する

> **メインメニューから 設定▶通話設定▶留守番・転送電話▶現在の設定確認**

■ 留守番電話サービスを停止する

> **メインメニューから 設定▶通話設定▶留守番・転送電話▶留守番・転送全てOFF▶YES**

お知らせ

- 留守番電話サービスと簡易留守録を合わせてご利用になるときは、呼び出し時間の短い方が優先されますのでご注意ください。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）
- **呼び出しあり**に設定している場合、着信音が鳴っている間（呼び出し時間内）に以下の操作ができます。
  - ・通話するには：
  - ・転送するには：**[メニュー]→転送電話**

伝言メッセージを再生する

新しい伝言メッセージが留守番電話センターに保存されると、待受画面にお知らせアイコン(☞P.1-22)と「1416」が表示されます。

1 →お知らせアイコンを選択→**YES**

以降の操作はアナウンスに従ってください。
再生が終わると、お知らせアイコンと「1416」は消えます。

■ 伝言メッセージの詳細を確認してから再生する

着信履歴で伝言メッセージを入れた相手の電話番号や日時を確認したあと、再生できます。

- **着信お知らせ機能**を**ON**に設定しておく必要があります。（☞P.2-20）

> で着信履歴を表示→**留守電お知らせ**→[1416]

■「1415」の表示を消す

> メインメニューから 設定▶通話設定▶留守番・転送電話▶留守番アイコン消去▶YES

お知らせ

- メインメニューから 設定▶通話設定▶留守番・転送電話▶留守番再生▶YES でも再生できます。

着信お知らせ機能を利用する

着信お知らせ機能をONにすると、電源を切っているときや圏外にいて受けられなかった着信、通話中の着信をお知らせアイコンで通知します。

- 留守番電話サービスを開始しているときだけ、利用できます。

メインメニューから 設定▶通話設定▶着信お知らせ機能

1 YES

ネットワークに接続されます。
以降の操作はアナウンスに従ってください。

着信お知らせ機能設定中に着信があると

電源を入れたり圏内に入ると、**着信のお知らせ**のお知らせアイコンが表示されます。お知らせアイコンを選択すると不在着信履歴が表示されます。

- 伝言メッセージが録音されている場合は**留守番電話あり**のお知らせアイコン（☞P.2-19）が表示されます。

割込通話サービス

割込通話サービスを開始／停止する

メインメニューから 設定▶通話設定▶割込通話

1 割込通話開始／割込通話停止→YES

ネットワークに接続後、設定確認画面が表示されます。

■ 割込通話サービスの設定内容を確認する

> メインメニューから 設定▶通話設定▶割込通話▶割込通話設定確認

割込通話を受ける

1 通話中に割込音が聞こえたら、

- を押すたびに通話相手が切り替わります。
- を押すと、通話中の相手との通話が終了します。
- 通話中の相手が電話を切ると、通話中の電話は切れます。
- を押すと、保留中の相手と通話できます。
- 通話保留中に割込通話が入った場合は、保留が解除され、保留中だった相手との通話に戻ります。

■ 割込通話を拒否する

> 割込音が聞こえたら、[メニュー]→着信拒否

お知らせ

- 割込通話サービスと、転送電話サービスや留守番電話サービスを**呼び出しあり**に設定して、同時に利用中の場合、通話中にかかってきた電話に出なければ、その電話は転送先、または留守番電話センターに転送されます。
- 転送電話サービスや留守番電話サービスを**呼び出しなし**に設定して利用中の場合、割込通話は受けられません。

発着信規制サービス

- 転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときは、**全発信**および**全着信**はご利用になれません（転送電話サービスまたは留守番電話サービスが優先されます）。
- サービスをご利用になるためには、発着信規制用暗証番号（☞P.1-28）が必要です。

発着信規制サービスを開始／停止する

メインメニューから 設定▶通話設定▶発着信規制

1 項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
全発信	緊急通話を除くすべての電話がかけられません。
滞在国/地域以外	滞在国以外への電話がかけられません。
日本/滞在国/地域以外	滞在国と日本以外への国際電話がかけられません。
全着信	すべての電話が受けられません。
国際着信	日本以外で電話が受けられません。

2 **設定／解除→YES**

3 規制暗証番号を入力

■ 発着信規制サービスの設定を確認する

> 手順1のあと、**設定確認**

■ 発着信規制サービスをすべて停止する

> 手順1で、**規制全停止**→規制暗証番号を入力

■ 発着信規制用暗証番号を変更する

> 手順1で、**規制暗証番号**→現在の規制暗証番号を入力→新しい規制暗証番号を入力→もう一度新しい規制暗証番号を入力

お知らせ

- 発信規制設定中でも緊急電話番号（110／119／118）へは発信できます。
- 発信規制中に電話をかけようとすると、発信規制中である旨のメッセージが表示されますが、お客様がご利用になる地域によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。メッセージが表示されないときは、発着信規制サービスの設定状況をご確認ください。

発信者番号通知サービス

《お買い上げ時》ネットワーク依存

メインメニューから 設定▶通話設定▶発信者番号通知▶発信者番号通知設定

1 通知する／通知しない／ネットワーク依存

- **ネットワーク依存**を選択すると、お申し込みいただいた設定になります。

■ 発信者番号通知の設定内容を確認する

> **メインメニューから 設定▶通話設定▶発信者番号通知▶発信者番号通知設定確認**

お知らせ

- ここでの設定にかかわらず、電話番号の前に次の数字を付けて入力すると、発信ごとに電話番号の通知／非通知を選べます。
  通知：1 8 6または＊ 3 1 #
  非通知：1 8 4または# 3 1 #